

第7回東部中学校区学校活性化協議会 議事録（要点筆記）

日時：令和8年3月16日（月） 19:00～20:10

場所：機殿小学校 多目的室

出席者：

【委員】森下幹也 長谷川友子 小川祐治 丹羽菜穂美 中川和洋 中川直樹
野呂昌美 野林恵利子 奥田均 木村康洋 ○佐藤順晋 高木一清 松本祐輔 和田文剛
松井研吾 楠堂晶久 菊森実成 服部亜由美 岡本淳 橋本恵美子 高木亨

【教育委員会】教育総務課 学校活性化推進室長 北畠和幸
学校活性化推進室主幹 清水尚美
学校活性化推進室主任 地主博一

【市議会】奥出かよ子 山本芳敬

欠席者：神部智広 ○浅井重久 西川幸二 有地功一

（◎部会長 ○副部会長）

1. あいさつ

（省略）

公開について

事務局

本日の協議会は、「公開」で進める。

（異議なし）

2. 協議事項

（1）協議結果等の報告

説明：事務局

資料1「学校再編活性化に係る協議結果」（東部北小・東部南小）

資料1別紙「東部北小・東部南小 校歌」「東部北小・東部南小 校章」

事務局

この件について、ご意見・ご質問はございませんか。

（意見なし）

（2）再編校の行事予定

説明：学校長

特記事項

・令和9年度以降は、始業式と入学式の同日開催に戻す予定。

(東部南小)

・雨天時の漕代小学校運動場へのバスの乗り入れは、バスがスタックする可能性があるため、バスの停車位置を変更することとなった。(令和8年度に舗装予定)

事務局

この件について、ご意見・ご質問はございませんか。

委員

以前は、創立記念日が休みになっていた。東部北小学校・東部南小学校の創立記念日は4月1日になるのか。

事務局

はい。

学校長

現在、学校の創立記念日は休みではありません。

3. その他

(意見なし)

委員あいさつ

委員

スムーズに準備を進めていただき、この4月から統合校がスタートできることを嬉しく思っている。あとは、子どもたちがストレスなく、スムーズに馴染めるような環境をつくっていただきたい。よろしくをお願いしたい。

委員

東黒部小学校が閉校となるのは寂しく、複雑な気持ち。

新しい東部北小学校・東部南小学校は、地域の皆さんの温かい気持ちが込められた学校になると思う。私も地域の一員として、子どもたちを見守っていききたい。

委員

長い間、皆さんと協議をさせていただいた。また、地域の方々やまちづくり協議会(住民自治協議会)の方々には、イベント等で大変助けていただいた。ありがとうございました。

これから、子どもたちが新しい学校で育っていくわけだが、そこには地域の方々の助けが必要になる。これまで以上に子どもたちと関わっていただくようお願いしたい。

委員

統合して、子どもたちと地域の方々との交流が無くなってしまふのは寂しい。子どもたちも不安に感じてしまふ。先生方には、これからもどんどん地域を巻き込んでいただくことをお願いしたい。

自分自身も地域の一員として協力させていただく。これからも、よろしくお願いいたします。

委員

学校名にも表れているように、旧6小学校は歴史と個性が溢れる学校であった。統合して、普通の学校名になる。

以前、粥見小学校を見学させていただいた際に、地域の歴史ある祭りに誇りを持っていて、地域を大好きになっている児童の姿が印象的だった。

東部北小学校・東部南小学校でも、子どもたちがそのような気持ちを持てるようにして欲しい。

委員

学校が無くなるのは地域にとって非常に寂しいことだが、子どもたちにとっては、新しい友だちと一緒に多様な考え方が溢れる中で育っていくことになるのではないかと、希望を持っている。

この地域の方々には良識があり、今回の学校活性化も円滑に進めていただくことができた。ただ、対等の統合ということであれば、児童数だけの議論で進めてしまうと、地域に遺恨が残ってしまうことになりかねない。

今後、他の地域で学校活性化の検討に入っていられると思うが、教育委員会がリーダーシップを取って進めていただきたい。

委員

第1回学校活性化協議会の際には、統合に反対の声を上げられる方もみえ、地域が分断しないか心配する部分もあった。朝見小学校と掃水小学校は校舎が使われるので、閉校する学校とは気持ちが全然違うと思う。閉校記念イベントを見てみても、その違いがよく分かった。

これから、2つの小学校がさらに伸びていくことを楽しみにしている。子どもたちが喜んでくれるよう、6地区が協力していきたい。

委員

学校活性化協議会での協議もあっという間だった。そして、10年もあっという間に経ち、あっという間に児童数が半分になり、2つの小学校が1つになっていくのではないかと思う。どうか10年先を見据えて進めていただきたい。

地域にとって子どもたちは宝物。これからもよろしくお願いいたします。

委員

地域の一員として、この協議会に加えていただき、ありがとうございました。

子どもたちにとっては、新しい友だちとの新しい環境になると思うが、成長していってくれることと思う。

委員

1年間しか参加できなかったが、このような大切な会議に参加させていただき、ありがとうございます。皆さんのご協力のおかげで、順調なスタートが切れることに感謝申し上げます。

自分の子どもが1年生の時に不登校気味になったことがあり、子どももショックが大きかった。親の仕事など、生活にも影響が及んだ。

例えば、中学進学時には誰しもそれなりにショックがあるもの。ただ、中学進学時であれば心積もりもできるが、今回の統合は大人の都合で決めたタイミングなので、掃水小学校の子どもたちはもとより、漕代小学校の子どもたちのショックは大きいと思う。

新しい小学校では、何よりもまず子どもたちの心の安定を大切にしてほしい。これ以上、不登校の子どもが増えてほしくないと思っている。

明和町は5年、10年先のビジョンがある。松阪市でも、長期ビジョンを考える会議があってもよいと思う。

委員

協議会発足当初の殺伐とした空気が忘れられない。「本当に活性化できるのか」と思った。

「複式学級を解消する」という大きな目標は達成できたが、地域の声をどれだけ反映させることができたのか、自分自身の反省するところ。

新しい小学校が始まれば、想定していないことがたくさん出てくると思うが、それぞれの学校で知恵を出し合っていくしかないと思う。

閉校する学校からは、休み時間や体育の授業での子どもたちの声がなくなり、地域は寂しさを感じると思う。その分、校舎を活用する学校は、子どもたちの安全面などを守っていく責任があると思っている。

委員

もう少し早く進められなかったのかとも思う。

「漕代は掃水に行くんだ」という思いが強い。

当初、4 km以内はスクールバスが出ないと聞いていたが、何とかバス通学ができるようになった。子どもたちが安全に、元気で登校できる学校にしていただきたい。

委員

最初は「大変なことを引き受けてしまった」と思った。ただ、会議の中で地域の皆さんの子どもたちに対する愛情が感じられて、保護者として非常に嬉しく思った。

他の地域のことは、近くても知らないことがたくさんあり、勉強させていただくことができた。今後も、学校運営協議会の一員として微力ながらお手伝いさせていただきたい。

委員

足早に過ぎ去ってしまった気がする。

東部北小学校と東部南小学校が統合することも見越して、校歌や校章を揃えることになったが、松阪市は5年、10年先のビジョンが立てられていないような感じがしている。明和町は新しい校舎を建て、多気町も建てる予定をしている。東部もいずれ2校が統合することになるのであれば、早いうちから準

備を進めていってほしいと思う。

今更だが、本当にこれでよかったのかと思うこともある。漕代小学校の特色を生かして、全校児童 50 人の学校でもよかったのではないかとも思う。

ただ、子どもたちには新しい小学校で楽しい毎日を送ってほしいと思う。そのために、先生方や教育委員会の方々のお力添えをお願いしたい。

学校長

委員の方々の挨拶を聞かせていただき、気の引き締まる思いです。

新しい小学校で学んだ子どもたちを、社会に出していくのが中学校の務めですので、これからも「スチューデントファースト」を進めていきたいと思っています。

「オレンジプロジェクト」をはじめ、今後も地域の皆様のお力添えをお願いいたします。

学校長

漕代小学校では、「やりきる 1 年、踏み出す 1 年」をキャッチフレーズに取り組みを進めてきました。

この 12 月までは、子どもたちが思い残すことがないように、様々なことに取り組んできました。特に、3 年間続けてきた地域学習では、地域の方々にもご協力いただき、産業や街道など、漕代のことをたくさん学んできました。そして、1 月からは「踏み出す 1 年」として、掃水のことも学んできました。

この 1 年、子どもたちが希望に満ち溢れた形にしたいという思いで頑張ってまいりました。2 つの小学校が 1 つになっても、引き続き頑張っていきたいと思います。

地域の皆様には、今後も変わらぬご支援をお願いいたします。

学校長

11 月の「ふれあいフェスティバル」では、地域の温かさを感じたことを覚えています。また、この協議会を通して地域の思いを強く感じるとともに、安心できる東部北小学校・東部南小学校をつくっていかないといけないという気持ちを持ちました。

新しい学校が動き出すと、様々な課題が見えてくることと思います。これまで同様、学校間で連携を取りながら進めていきたいと思っています。今後とも、地域の皆様のご協力をお願いいたします。

学校長

この協議会は、それぞれの地域の生の声を聞かせていただくことができるとても楽しい時間でした。

朝見小学校では、「安全・安心・ありがとう」をキャッチフレーズに掲げ、子どもたちが落ち着いて学習に取り組むことができるよう、「ありがとう」をたくさん伝えることができるよう、保護者や地域の方々が安心して 4 月を迎えられるよう、この 1 年を過ごしてきました。

個人的には、自分の母校である松ヶ崎小学校が閉校になるということで、校歌が歌えなくなる寂しさや、学校から子どもたちの声が聞こえなくなる不安を感じる 1 年でもありました。

ただ、学校に子どもがいなくても、地域で子どもたちが育っていくことには変わりありません。だからこそ、学校と地域が連携して、子どもたちの豊かな育ちを一緒に進めていきたいと考えています。

本日、委員の皆さんのお話を聞かせていただき、心強い応援団がいると感じました。東部北小学校・

東部南小学校では、東部ならではの温かさ、それぞれの地域の個性を生かした学校運営を進めていきたいと思ひます。これからも、ご協力よろしくお願ひいたします。

学校長

この協議会では、子どもたちのために様々な課題や意見を出し合いながら、より良い方向に進んでいることを感じました。また、各小学校の閉校、東部北小学校・東部南小学校の開校に向けて、心一つにして前向きに進めていただいている姿を見て、すごいことだと感じました。

機殿小学校では、今年度「思い出いっぱい的小学校にしよう」という思いで、閉校記念イベントの実行委員会委員の皆様をはじめ、保護者や地域の皆様にご協力いただき、この1年間がんばってきました。

9月ごろからは、子どもたちが気持ちを整えていくことができるよう、開校に向けた話を少しずつしてきましたが、まだまだ不安を抱えている児童もいますので、このひと月が大事だと思っています。

東部北小学校・東部南小学校が楽しい学校となるよう、引き続き皆様のお力添えをお願ひいたします。

学校長

地域の皆さんのお力をお借りした地域探究学習を通して、「地域と一緒に学校をつくる」ということを学ばせていただきました。これは、自分自身にとってとても大きな経験となりました。

西黒部小学校では、「ありがとう西黒部、よろしくね東部北」という教育目標を掲げ、取り組みを進めてきました。東部北小学校・東部南小学校においても、「ありがとう」「よろしく」の気持ちを形にしていかなければならないと思っています。

学校長

公私ともに東部中学校区に関わりがあり、個人的には閉校することに寂しい気持ちもあります。

東黒部小学校では、「東黒部小学校をもっと好きになる」という目標を掲げ、地域の方々と一緒に活動をしたり、地域の方々へ発信したりしてきました。これらの活動を通して、子どもたちの意識が高まってきたように思ひます。

東部北小学校・東部南小学校の開校に向けて6校が連携して取り組んできましたが、学校生活が始まると予想外のことも起こってくると思ひます。地域の皆様にも助けていただきながら、子どもたちが安心して学べる学校にしていきたいと思ひます。引き続きよろしくお願ひいたします。

事務局

委員の皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

学校再編活性化の是非、そして新しい学校の開校に向け、様々な調整を重ねていただいた学校活性化協議会が、本日その役割を終える運びとなりました。

皆様からいただいたご意見やご提案は、豊かな経験と深い知見に基づいたものであり、私たち自身そのたびに気づきがあり、学びの多い時間を過ごさせていただきました。

また、本当に難しいテーマであるにもかかわらず、異なる立場や視点を尊重し合いながら、冷静かつ協力的に協議を進めていただいたこと、深く感銘を受けております。

この4月からが本当の意味でのスタートです。子どもたちが、安全・安心に通える学校、多くの仲間

と笑い合える・学び合える学校となるよう、教育委員会としてもしっかり学校をサポートしていきます。保護者や地域の皆様におかれましては、今後も引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地元議員の皆様におかれましても、ご多忙にもかかわらず、協議会・部会にご出席を賜り、時には温かく、時には厳しく、ご助言を頂戴しましたこと、本当に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

皆様におかれましては、どうぞ今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが、お礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。